

人材育成基金を活用しませんか！

たとえば、「青少年の指導者となるための研修を受けたい」または、「研修に参加して自分をみがきたい」など、地域のリーダーになりうる資格を取得するための研修、町の産業振興につながるような研修などに参加したいという計画をお持ちの方。

大崎町では、町内に居住されている方を対象に、『人材育成基金』を使って、研修費を助成する制度があります。公益性が期待されるなど、一定の制約（研修の内容、予算枠など）はありますが、もし、そういう計画をお持ちの方がいらっしゃいましたら、事前に下記までお気軽にご相談ください。

今回は、平成14年度大崎町青少年海外研修派遣事業に参加し、平成16年4月からアメリカワシントン州シアトル市内の大学（シアトル・セントラル・コミュニティ・カレッジ）に留学した、脇丸小百合さん（赤松集落出身・志布志高校卒）に現地からコメントをいただきました。



脇丸 小百合さん

アメリカ・シアトルの大学に入学して1か月が経ちました。ホストファミリーとの会話にも徐々に慣れ、ヒアリング力が上達したように思います。大学では、日本人がいる環境のなかで、いかに日本語を話さないようにするかを日々努力しています。今のところホームシックにかかっていますが、1週間に1度、実家の両親へ電話を掛けると、とても故郷が懐かしくなります。学校は、1日4時間の授業で、宿題には平均2時間かかっています。授業はヒアリング、リスニングの授業と、ライティング、リーディングの授業との2つに分かれています。これから進級するにつれ、勉強も難しくなり、宿題の量も多くなると聞いていますので、がんばっていきたいと思います。大崎町の生徒さんが夏休みにいらっしゃるの、お会いするのを楽しみにしています。

《問い合わせ先》 大崎町役場企画財政課企画広報係 ☎ 76 - 1111(内線 221)
" 社会教育課生涯学習係 " (内線 413)

新規認定農業者に農業経営改善計画認定証を交付

平成16年4月21日に新規認定農業者の認定証交付式が行われました。町長より認定証の交付が行われた後は、これからの農業や経営のことなどについて、意見交換がなされました。今回、新規認定されたのは次の方々です。（平成15年11月～平成16年3月）



写真右から

1. 吉永 竜二さん（露地野菜＋普通作複合型）
2. 入部 昭和さん（施設野菜専門型）
3. 木村 正盛さん（養豚一貫型）
4. 中屋 久夫さん（肉用牛＋椎茸複合型）
5. 駿河崎 明さん（肉用牛＋普通作複合型）
6. 中園 巖さん（肉用牛専門型）
7. 宍 一 坪
(代)市坪新悟さん（養豚一貫型）
8. 徳永 良治さん（肉用牛専門型）
中村 哲男さん（肉用牛専門型）
(当日都合により欠席)

現在、認定農業者は236名（うち法人8組織）います。

認定農業者制度とは、意欲ある農業者の経営改善計画（5年後）を町長が認定。認定農業者に対する支援措置としては、農用地の利用集積支援や低利資金、税制特例（青色申告の方が対象）、機械リースへの助成などがあります。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 大崎町役場 農政課 農業経営改善支援センター TEL 76 - 1111 (内線 164)